

「福島県の水産仲買・加工事業者等に対するタイ王国への販路拡大等にかかる支援業務委託」の質問

No	資料名	項目	質問	回答
1	仕様書	仕様書3. (3)	①本事業に参加する福島相双水産事業者については既に機構側で目途が立っているのか、それとも応募事業者側で募集する必要があるのか ②①が後者の場合、機構側で募集基準等の想定はあるか（相双地域の水産事業者であること以外） ③商談代行や商談会はオンラインを想定しているのか、タイ現地での開催を想定しているのか ④③が後者の場合、事業者や応募事業者の参加メンバーの移動・宿泊費用は全て提案金額内に含めるのか、また機構は参加予定か、全体の参加メンバー数の目途はあるか ⑤5社とのマッチングとなっているが、福島相双水産事業者が複数いる場合にA社で2社、B社で3者のバイヤー等のマッチングで計5社、A社のみの参画の場合は、ロングリストから5社のバイヤーを選定し、商談を進める支援を行う内容で理解としてあっているか また、5社とのマッチングを数値目標としておきつつ、1社との商談を進めて少しでも早く販売に繋げることと販路開拓のために複数の商談を並行して進めるのではどちらを機構として重視しているのか	①福島相双水産事業者については機構で想定している事業者はいるが、当該者のみに限定することはないため、応募事業者様の推薦等も受領いたします。 ②明確な基準はない。できる限り「前浜」（常磐もの）を素材とした商品を加工する事業者を推薦いただきたいが、福島加工（福島県以外の漁港（国外含む）で水揚げした水産物を福島県内で加工）の商品も可とします。 ③オンライン、現地どちらでも可とするが、現地商談優先とします。 ④「事業者」＝「福島相双水産事業者」とした場合、「事業者」の移動等費用は提案金額に含まず、「応募事業者」の同費用は提案金額に含む。 また機構は全てではないが商談・イベントに現地参加予定があり、その際の参加メンバー数は2～3名程度を考えている。 （当然のことながら、機構側の移動等費用は提案金額に含まない） ⑤仕様書における「5者程度とのマッチング」の「5者」はバイヤー等の数を示しているので、貴社理解で相違ない。また、「1社との商談を進めて少しでも早く販売に繋げること」と「販路開拓のために複数の商談を並行して進める」の間に優劣はない。
2	仕様書	仕様書3. (4)	①3社とのマッチングとなっているが、福島相双水産事業者が複数いる場合にA社で2社、B社で1者のバイヤー等のマッチングで計3者、A社のみの参画の場合は、ロングリストから3社の輸出事業者を選定し、商談を進める支援を行う内容で理解としてあっているか また、3社とのマッチングを数値目標としておきつつ、1社との商談を進め販売に少しでも早くつなげることと、販路開拓のために複数の商談を並行して進めるのではどちらを機構として重視しているのか	①仕様書における「3者程度とのマッチング」の「3者」は日本国内輸出企業等の数を示しているので、貴社理解で相違ない。また、「1社との商談を進めて少しでも早く販売に繋げること」と「販路開拓のために複数の商談を並行して進める」の間に優劣はない。
3	仕様書	仕様書3. (5)	①イベント開催に当たって事業者、相双機構の参加は想定されるか、また応募事業者分を含む参加メンバーの移動・宿泊費用は全て提案金額内に含めるのか、全体の参加メンバー数の目途はあるか	①機構職員の参加を想定しているが、事業者（＝「福島相双水産事業者」とする）はご希望があれば現地参加いただく予定である。また、機構職員及び事業者の移動等費用は提案金額に含まず、応募事業者の同費用は提案金額に含む。 参加メンバー数については、機構職員が2～3名程度、事業者は（現地参加の場合）1社あたり1～2名程度を想定している。

4	仕様書	仕様書3. (6)	現地公的セクターはどのような先を想定しているか、機構が先行きの様なリレーションを形成していく方針かと併せてご教示いただきたい	・在タイ日本国大使館、ジェトロバンコク事務所等日系の現地公的セクターを想定している。それらと連携の上で、福島の水産加工品を販売を行う上でのリスクを最小化していくことを目標に、それに繋がる取組を今年度実施してほしいと考えている。
5	仕様書	仕様書3. (7)	「海外輸出プラットフォーム」とは既にあるものか、ない場合にはどのようなものを想定しているか（完全に応募事業者の提案範囲か）、輸出対象はタイのみを想定することで現時点では問題ないのか	・「海外輸出プラットフォーム」については、現時点で全世界共通のものは存在しない。他方、他国（シンガポール）において昨年度より整備を進めているところ。プラットフォームのイメージとしては、各国における輸出を行う上での留意事項をまとめつつ、それぞれの国での商流の紹介し、それを福島相双水産事業者が手軽に活用できるような仕組みを形成すること等を目指しているが、応募事業者においてご提案があれば提案書等に記載いただいてかまわない。 ・輸出対象としては、本事業においてはタイのみの想定で問題ない。